

平成30年度自然保育推進事業 活動報告書

1、 認定こども園 広島高陽学園

2、 今年度の活動概要

(1) 環境構成に関すること

本園は緑に囲まれ、時折り鹿の親子が姿を見せたりする自然豊かな環境の中に園舎があります。園舎の向かい側には広いグラウンドや森があり、田んぼや菜園で子ども達は毎年米作りの体験をしたり、野菜を育てたりしています。自然の中で子ども達はのびのびと遊び、色々なことを感じとったり体験したりしています。

(2) 特に印象的だった遊びの事例に関すること

【コシダのグライダー (3・4歳児)】

森で遊んでいた子ども達。子ども達はブランコをしたり、葉っぱ集めをしたり、椿の花を拾って頭に飾ったり、蜜をなめたりなどの好きな遊びを楽しんでいました。

A君 「トンネルの所に行きたい！」

先生 「行こう！トンネルの所にはガムがあるよ。」

Bちゃん 「食べたい！」

コシダの所に行き、先生にガムの作り方を教わっていました。

先生 「固くて食べれそうにない。少し食べてみる？」

A君 「葉っぱの味がする。」

先生 「これの大きい葉っぱがシダでね。グライダーになるんだよ。」

Bちゃん 「コシダでも出来るんじゃない。やってみようよ。」

先生が飛ばしてみる。「飛んだ～」と子ども達は大喜びです。

子ども達は一齐にコシダのグライダーで飛ばして遊んでいましたが、風が吹いてきてなかなかうまくいきません。すると (コシダ⇒)

A君 「風が吹いてるね。こっち向いて飛ばしたらどう？」

Bちゃん 「いいね。やってみようよ。」

風に乗ってコシダのグライダーはよく飛びました。子ども達は大喜びです。

A君 「やった～。飛んだよ。すごい！」

子ども達が風を感じて、遊びが盛り上がり何日も遊びが続きました。



(グライダーが飛んだよ)

【つつじのジュースづくり】（4・5歳児）



5月のはじめ、年中組のみんなで園のまわりを散歩に出かけました。歩いていると、つつじの花がたくさん咲いているを見つけました。周りに咲き終わった花がたくさん落ちていて子どもたちはその花を拾い始めました。

「虹組みたい」と喜び自分たちのクラスカラーと同じつつじの花を集めました。

途中、蜜を吸うハチに気づき「ハチさんに気を付けて！」と声をかけている子もいます。たくさん集めて園に持って帰りました。



花びらをさわっていると強くつぶした子が

「手に色がついた！」とびっくりしていました。

「虹組ジュース作ろう！」

「白い花はカルピスになるんかね？」

「緑の葉っぱは月組ジュース？」

月組のクラスカラーは黄緑です。



「手がべたべたする」

みんなでまねをして、潰しはじめました。

「グーでたたこう！」

手でたたいたり、げんこつで押ししたり、指で潰したり・・・工夫していました。

「白い花はしるが出ないね。」

「緑の葉っぱはかたいね！」

(どんな色になるのかな)



少しずつ赤紫のしるが出てきました。

「もっと、もっと！」

「ジュース出てきた！」

「〇〇君、ありがとう！」

虹組ジュースがたくさんできたので、ジュースを使って染め物もしました。

(きれいに染まったよ)

虹組いろで染め物もしたよ。

そーっと広げて・・・

「クワガタ虫みたい！おもしろいね。」

「きれーい！」

「紫色だね！」

「きれいに染まったよ。」



【米作り】（5～6才児）

高陽学園の年長組は、毎年、田作りから田植え、稲刈り、おむすび作り、と年間を通して米作りを体験しています。

【田作り（5月）】



田んぼの土を足で踏んで柔らかくします。
「田んぼの中は、ぐにゃぐにゃして気持ちいい～！！」

【田植え（5月）】



苗植えをします。初めは、まっすぐに植えるのが難しかったけど、だんだん上手になってきました！

【お米の観察（6～9月）】



稲の苗が大きくなっていました。
カエルやバッタもいました！！

【稲刈り（10月）】



自分で鎌を持って稲を刈ります。「ちょっと難しいな～…でも、かまの使い方もだんだん上手になりました。！」（田んぼが広いので半分は機械で刈ります。機械は、稲を刈り、束ねる作業までをしてくれたのでみんなびっくり！）

【かかし作り（10月）】



干した稲が、すずめに食べられないように、かかしを作りました。
「“へのへのもへじ”の顔を書いたよ！」

【脱穀・精米（11月）】



脱穀したお米を精米機に入れて、精米します。
「精米したお米はあたたかくて、いいにおいがするね！」

【おむすび作り（11月）】



「おにぎりぎゅっぎゅっ！うまくできるかな？
中には、梅干しや昆布を入れたよ！」



「大きなお口であーん！園でできたお米で作った
おむすびはとってもおいしいね♪」